

## ◎エクストラニール腹膜透析液 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 【分類】 イコデキストリン含有腹膜透析液

【単位】 ◎1.5L, ◎2L [S, W, UVF (W)]

【透析患者への投与方法】 1日1回のみ使用する。1回の交換において1.5～2Lを腹腔内に注入し、8～12時間滯留して排液。本剤以外の交換にはブドウ糖含有腹膜透析液を用いる。注入量および滯留時間は症状、血液生化学値、体液平衡、年齢、体重等を考慮し適宜増減。注入および排液速度は300mL/分以下とする (1) マルターゼ欠損のため糖原病患者には禁忌 (1)

【特徴】 ブドウ糖に代わる浸透圧物質としてイコデキストリンを含有する腹膜透析液であり、8～12時間貯留時の限外ろ過量は2.27%ブドウ糖含有腹膜透析液と比べて有意に増加が認められている。イコデキストリンは分子量が大きいため、腹膜を介して急速に吸収されることがなく、主として膠質浸透圧物質として作用し、血漿との等浸透圧を維持しながら限外ろ過をもたらすことが可能である。

【主な副作用・毒性】 発急激な脱水による循環血液量減少、低血圧、ショック、発疹、高血圧、血液浸透圧上昇、浮動性めまい、腹痛、剥脱性皮膚炎、掻痒症

【安全性に関する情報】 4日後に全身性紅斑をきたした1例 (勝谷昌平, 他: 透析会誌 44: S548, 2011) 5日後に肝・腎障害を伴うアレルギー症状を認めた1例 (七松 東, 他: 透析会誌 50: 309-313, 2017)

【モニターすべき項目】

【吸収】 分子量が大きいため腹腔内から全身循環への吸収は、腹膜毛細血管を介して主に吸収されるブドウ糖とは異なり、主としてリンパ管を経由すると考えられている。イコデキストリンの吸収率32～46% (1)

【tmax】 デキストリン12.77hr (1)

【代謝】 血漿中に移行したイコデキストリンは血漿α-アミラーゼによりグリコシド結合が加水分解を受け、マルトース、マルトトリオース、マルトテトラオース等を含むオリゴ糖に代謝され、さらにこれらは生体内に存在するマルターゼにより最終的にブドウ糖に代謝される透析患者ではマルターゼ活性が低いいため、腎以外の組織マルターゼによって代謝される (1)

【排泄】 残腎機能を有する患者ではイコデキストリン代謝物として尿中に排泄される。またブドウ糖含有透析液中にも排泄される (1) 【CL】 デキストリン18.2mL/min (1)

【t1/2】 デキストリン15.2hr (1)

【MW】 13000～19000

【更新日】 20200926

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。